

第59回神奈川県看護賞受賞者名簿

*各項目とも令和6年4月1日現在
(職種・五十音順、敬称略)

| | 区分 | 氏名 | 所属(所在地) | 功績等 |
|---|-----|-------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | |
| 1 | 保健師 | いけだ ゆきえ 池田 幸枝 | 秦野市こども健康部福祉事務所 (秦野市) | 平成10年のオープンに向けた秦野市保健福祉センターでの事業立案や、平成14年に県から移譲された精神保健福祉業務の市事業としての立ち上げなどに取り組み、各事業を軌道に乗せた。また、管理職として、後輩保健師の育成に尽力するとともに、口腔がん検診の開始などの新規事業に関係機関と共同しながら取り組み、成果を挙げた。 |
| 2 | 保健師 | くりた ゆみこ 栗田 由美子 | 伊勢原市保健福祉部介護高齢課 (伊勢原市) | 伊勢原市役所において保健師として従事し、多年にわたり地域に根ざした保健衛生の向上に尽力した。平成8年度に母子保健計画の策定、平成12年度に介護保険制度の立ち上げに携わる。平成14年度には「健康いせはら21計画」を策定し、新たな施策づくりや保健事業の立ち上げに貢献した。 |
| 3 | 助産師 | ふせ あけみ 布施 明美 | 医療法人産育会堀病院 (横浜市) | 看護学校専任教員として、看護学校4年制のカリキュラム作成に尽力した。臨床においては、県立こども医療センターで、NICU病棟で悩んでいる母親に寄り添い、母乳支援外来を立ち上げ、母乳分泌の向上や子供を亡くした家族へのグリーフケアに尽力した。また、堀病院において産後ケア体制を立ち上げ、切れ目のない支援を実践している。 |
| 4 | 看護師 | いしやま けいこ 石山 圭子 | 医療法人徳洲会湘南大磯病院 (大磯町) | 看護管理の役職を10年以上にわたり担っており、地域の基幹病院として地域医療の推進に貢献している。看護学生の実習受入れに協力し教育機関として学生の実習環境の調整に努めた。また、認定看護管理者として看護管理の講師を担い、後進の育成を推進している。 |
| 5 | 看護師 | さいき ゆきこ 齊木 由紀子 | 医療法人社団鵬友会ゆめが丘総合病院 (横浜市) | 臨床及び看護教育の場にて、豊富な経験と卓越した識見をもって、円滑な組織運営に努めてきた。県立がんセンターでは、副院長兼看護局長として、病院経営の状況及び医療をめぐる状況を十分に把握した上で業務を行い、看護職のみならず医師等他職種と連携し、病院の運営に貢献した。 |

| | | 区分 | 氏名 | 所属（所在地） |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------------------------|
| | | 功績等 | | |
| 6 |  | 看護師 | さいごう ちよこ 西郷 千代子 | 医療法人尽誠会山近記念総合病院 (小田原市) |
| | | <p>コロナ禍において、現場の看護師を教育しながら、患者の受け入れ体制を構築し、地域住民に対する医療、看護の提供に尽力した。 初期研修医の研修プログラムにおいて、病院における研修管理委員会の外部委員を務め、初期研修医育成の一助に貢献した。</p> | | |
| 7 |  | 看護師 | さとう くみこ 佐藤 久美子 | 社会医療法人財団石心会川崎幸病院 (川崎市) |
| | | <p>自施設独自のラダーを作成し、各レベルの年間教育計画、キャリア開発に取り組み、新卒離職率0%を達成。看護師のキャリアラダーと教育システムの構築に貢献した。 救急救命士との協働を進め、川崎市での救急搬送における現場待機時間の短縮に貢献。地域における救急受け入れシステムの構築に尽力した。</p> | | |
| 8 |  | 看護師 | なかや まさみ 中谷 正美 | 医療法人光陽会関東病院 (横浜市) |
| | | <p>昭和62年の横浜市入職後より、看護スタッフ及び看護管理者として看護サービスの質向上と人材育成に尽力した。 脳卒中・神経脊椎センター（脳血管医療センター）の開設準備に携わったほか、市民病院や脳卒中・神経脊椎センターでのパートナーシップ・ナーシング・システムの導入、横浜市民病院の新病院への移転準備に取り組み、業務改善、教育、看護の質向上に大きな成果を挙げた。</p> | | |
| 9 |  | 看護師 | にしむら のりこ 西村 智子 | 茅ヶ崎市立病院 (茅ヶ崎市) |
| | | <p>神奈川県看護協会の訪問看護出向事業へ参加した際、市と病院間や、施設と看護協会等との調整役を担い、事業を成功させた。 地域の看護師確保・定着、資質向上を目的として自治体及び医師会を中心とした湘南ナース総合支援事業における、湘南ナース養成プログラムを地域医療機関と共同して作成し、地域医療に貢献した。</p> | | |
| 10 |  | 看護師 | ひぐち みか 樋口 美佳 | 神奈川県立子ども医療センター (横浜市) |
| | | <p>臨床及び看護教育の場での経験を活かし、県立病院において管理職を歴任。管理職として高い能力を発揮し、看護管理業務や病院運営において重要な役割を果たした。平塚看護大学校では、県内唯一の高度専門士の称号を付与する看護師養成校の校長として、4年制看護師基礎教育の啓蒙に尽力した。</p> | | |